



29.4.10

統合幕僚監部

(お知らせ)

派遣海賊対処行動航空隊による事案対処について

4月8日(土)深夜(現地時間同日夕方)、アデン湾の国際推奨航路において貨物船が海賊に乗っ取られた可能性があるとの情報を受け、第151連合任務部隊(CTF151)司令部と調整し、派遣海賊対処行動航空隊のP-3C哨戒機がジブチから現場に急行し、9日午前(現地時間同日未明)まで当該貨物船の動向監視を行った。

現場に到着したP-3C哨戒機は、当該貨物船と無線通信を行い、すでに当該貨物船は海賊に乗り込まれていること、乗員19名は全員がシタデル(船内の避難区画)に避難し人質とはなっていないことを確認し、CTF151に情報提供を行った。

P-3C哨戒機は、数時間にわたる当該貨物船の動向監視の後、現場海域に到着した複数の艦艇に対応を引き継ぎ、ジブチに帰投した。

その後、中国艦艇の要員が当該貨物船に乗り込み、海賊を拘束するとともに、当該貨物船の乗員の安全を確保した。

なお、現在、海上自衛隊の福田将補が司令官を務めているCTF151司令部は、CTF151所属の各国部隊との連絡調整に加え、EU海上作戦部隊等と緊密に連携して当該事案に対応した。